

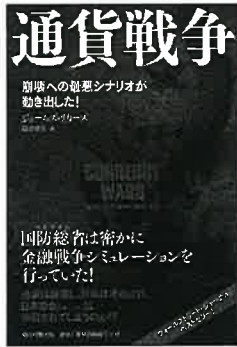
Book Review

話題の本

通貨戦争

ジェームズ・リカーズ著

3年前に米国防総省が金融専門家を集めて極秘の金融戦争ゲームを実施した。シナリオ作りから参加した著者が描いた未来シミュレーション。米国が近く実施する量的緩和第3弾(QE3)でドルは減価する。新興国経済はインフレと原材料価格高騰の直撃を受け、保護主義が台頭するかもしれない。信認が危ぶまれるドルがある日突然崩壊したら、世界はパニックに陥るが、それを防ぐ確固たる手は誰も持っていない……。怖い本だが、必読の1冊だろう。



朝日新聞出版
2100円

四〇〇万企業が哭いている

石塚健司著

貸しはがしなどの企業いじめに嫌気して銀行を辞めた男が中小企業の経営相談に乗るうち、粉飾決算に手を貸した。東京地検特捜部は震災関連の保証制度を悪用した「震災詐欺」として摘発した。約400万ある中小企業には会社立て直しのために命を削って働く経営者たちも多いが、その7割超は粉飾に追い込まれているという。この現実を無視して捜査を進める検察に正義はあるのか、弱者の味方とは何か? 何とも重い課題を取り上げた1冊だ。



講談社
1575円

丸善丸の内本店 週間ランキング (9月6~12日)

- ① アジア進出ハンドブック
三菱東京UFJ銀行国際業務部著 東洋経済新報社 2520円
- ② 「為替」の誤解
上野泰也著 朝日新聞出版 1575円
- ③ 読書の技法
佐藤優著 東洋経済新報社 1575円
- ④ ウィルゲート 逆境から生まれたチーム
小島製糖著 ダイヤモンド社 1470円
- ⑤ 二十年先の未来はいま作られている
MIRAI DESIGN LAB.編 日本経済新聞出版社 1680円
- ⑥ 転換期を迎えるインド
中島久雄、岩垂好彦著 東洋経済新報社 2100円
- ⑦ 宋文洲猛語録
宋文洲著 ダイヤモンド社 1575円
- ⑧ ふだん使いのマインドマップ
矢嶋美由希著 阪急コミュニケーションズ 1575円
- ⑨ 成功と失敗の事例に学ぶ 戦略ケースの教科書
松田久一編著 かんき出版 2520円
- ⑩ M&Aコンサルティングの実務
佐武伸著 中央経済社 3360円

- ① 光圀伝
沖方丁著 角川書店 1995円
- ② 虚像の道化師 ガリレオ7
東野圭吾著 文藝春秋 1418円
- ③ 海賊とよばれた男 上
百田尚樹著 講談社 1680円
- ④ 小説講座 売れる作家の全技術
大沢在昌著 角川書店 1575円
- ⑤ ソロモンの偽証 第I部 事件
宮部みゆき著 新潮社 1890円
- ⑥ 空飛ぶ広報室
有川浩著 幻冬舎 1680円
- ⑦ 屍者の帝国
伊藤計劃、円城塔著 河出書房新社 1890円
- ⑧ 宿神 第一巻
夢枕獯著 朝日新聞出版 1890円
- ⑨ 赤猫異聞
浅田次郎著 新潮社 1575円
- ⑩ その日東京駅五時二十五分発
西川美和著 新潮社 1260円

約束の日 安倍晋三試論

小川榮太郎著

短命に終わった安倍晋三政権の1年を振り返り、政権の現代日本にとっての意味を小気味よく語った。文芸評論家らしく政治家の頭の奥を透徹した目で見つめ、言葉を紡ぎ出している。教育基本法改正、公務員改革、憲法改正手続法などの成果も「戦後レジームからの脱却」という理念が理解できなければ、深い意味が分からないという著者の主張はその通りだろう。それにしてもある新聞の安倍氏たたきを時系列で読まされると、その異常さに驚くしかない。



幻冬舎
1575円

北朝鮮と中国

五味洋治著

北朝鮮のテポドン発射、核実験で国連安保理決議をしようとしても反対し、決議に賛成した時も実行しない中国は北朝鮮とよほど仲がいいのだろう、と思う方が多いと思う。実情はそうではないと歴史的に解き明かした中朝関係の入門書だ。社会主義国家でありながら3代世襲の金正恩体制となった北朝鮮に中国は距離を置き始めているというが、日本は付け入る隙を見つけることができるのか、拉致問題は解決するのか。その展望もクリアカットだ。



ちくま新書
819円